

1/22  
2月10、11日花物語の観梅会 延岡  
本東寺の白梅 咲き始める



陽気に誘われ、1本の木にいくつもの花が咲いた本東寺の慧日梅 (延岡市松山町)

慧日山・本東寺(延岡市松山町、吉田海心住職)の境内で慧日梅(えいちばい)の白い花が咲き始めた。1本の木に数十輪の花が咲き、無数のつぼみは今にも開花しそう。同寺の白梅は、樹齢230年とされる枝垂れ梅。参道や庭周辺に白梅50本、紅梅5本があり、新富町の「湯の前座論梅」(宮崎市高岡町の一月知梅)と共に宮崎県三梅の一つに数えられる。中でも境内の真向かいにある古木は「みやざき古木百選」に選定され、2月初旬〜中旬の満開時には白い可憐な花や紅色の花を咲かせ、大勢の花



見客でにぎわう。同寺は、2月1日から4月5日まで開催される「延岡花物語2020」の鑑賞コースに入ってお

満開となった山崎洋一さんの「臥竜(がりゅう)梅」(2019年1月撮影)

春を呼ぶ梅を楽しむ、参加者募集

花物語のぶらりバス旅 梅の名所をバスで巡る

「春を呼ぶ梅 Sampo ぶらりバス旅」は2月10日、延岡市内で行われる。延岡花物語2020 オープニングイベント「慧日(えいち)梅観梅会」の関連企画。延岡花物語実行委員会(谷平興二委員長)は参加者を募集している。

当日は、延岡市松山町の松山橋下(マルシヨク前河川敷)に午前9時45分集合。延岡ガイドボランティアのアネ江

洋子さん案内の下、まずは慧日梅観梅会が開かれる同町の本東寺へ。見ごろを迎えた50本超の白梅、紅梅を楽しむ。続けて大峽町の山崎洋一さん方(樹齢130年以上という「臥竜(がりゅう)梅」を見学する。高さ約2.5m、枝張り約10m。薄紅色の梅の花が参加者を出迎える。

その後は、北川町の西郷隆盛宿陣跡や二ギノミコト御陵墓参考地として知られる可愛山陵伝説地を見て回り、最後は延岡十日えびすが開かれる今山恵比須神社を經由して、松山橋下で午後1時30分ごろ解散する予定。参加費は1000円(お茶代、保険料など込み)。定員は20人。締め切りは31日。申し込み、問い合わせは山崎さん(☎0900・5472・9275)。